



## 国際医療リスクマネジメント学会

### 医療安全臨床コミュニケーター養成研修会2016 (クリニカルコミュニケーション編)

#### —医療事故時のクライシスコミュニケーションの改善—

#### 主催者の挨拶

医療事故発生時における院内対応は、危機(クライシス)に対するマネジメント、コミュニケーションならびにガバナンス(組織対応)の3要素が必要です。これらにおける不適切な対応が患者・家族の強い悲しみ・怒りを引き起こしています。

本プログラムの目的は、医療事故時に必要となるコミュニケーションの知識・技術を向上し、医療事故時における優れたリーダーを育成することです。

そのために、危機コミュニケーションを中心とした危機対応の方法を、臨床講義、ロールプレイやグループワークなどによって体験的に学習します。

本実習によって、あなたの医療機関により高度な安全文化と患者・家族からの納得と信頼が構築できます。

なお、医療安全文化の向上には、より高度な知識と機能を有する高度医療安全管理者が不可欠です。そこで、本年度から日本医療安全学会の協力の下、学会認定「高度医療安全管理者」資格制度が開始されます。本プログラムはこの認定資格取得における必須科目でもあります。

2016年4月

酒井 亮二 (国際医療リスクマネジメント学会理事長)

主催者一同